

令和7年度 浜松修学舎中学校 第1回入学試験問題 社会（その1）

第1問 次の資料は「源氏物語」の第41帖「幻」の一部分である。この巻では、主人公の「光源氏」が最愛の妻であった「紫の上」を病で亡くし、きらびやかな貴族としての生活を捨て僧になって仏教の修行する「出家」の準備を始める場面が描かれている。以下の資料を読み、次の問いに答えなさい。

源氏物語 第41帖「幻」 現代語訳：与謝野晶子（問題作成の都合上、一部変更）

光源氏が暑いところに涼しい水亭に出てながめておいでになる池には、蓮の花が盛りに咲いていた。恋しい紫の上への追懐のために、この花の前にもうつろな気持ちを覚えておいでになるうちに、日も暮れに近くなった。はなやかに蛸の鳴く声聞きながら、撫子が夕映えの空の美しい光を受けている庭も、紫の上と一緒にではなく、ただ一人で見ておいでになることは味気ないこととおありになった。

「つれづれと わが泣き暮らす 夏の日を かごとがましき 虫の声かな」  
 螢が多く飛びかうのにも、「夕殿に螢飛んで思ひ悄然」などと、光源氏が口ずさむ詩は、楊貴妃と別れた唐の玄宗皇帝の悲しみを書いた漢詩であった。

「夜を知る螢を見ても悲しきは時ぞともなき思ひなりけり」  
 七月七日も例年に変わった七夕で、音楽の遊びも行なわれずに、寂しい退屈さをただお感じになる日になった。星合いの空をながめに出る女房もなかった。

未明に光源氏が妻戸をお押しあけになると、前庭の草木の露の一面に光っているのが、渡殿のほうの入り口越しに見えた。縁の外へお出になって、  
 「七夕の 逢ふ瀬は雲の よそに見て 別れの庭の 露ぞ置き添ふ」

こう口ずさんでおいでになった。  
 秋風らしい風の吹き始めるころからは法事の仕度のために、光源氏のお悲しみも少し紛れていた。紫の上が亡くなって一年たったかとお思いになると呆然ともおなりになるのである。命日である八月十四日には、光源氏が暮らす六条院の人々は、身分が高い人も低い人も精進潔斎して、曼陀羅の供養に列するのであった。

- 問1 平安時代に「源氏物語」を書いた人は誰か漢字で答えなさい。
- 問2 平安時代に、同じ夏の様子を「夏は夜。月の頃はさらなり。闇もなほ。螢の多く飛び違ひたる。」とすぐれた随筆で書いた人は誰か漢字で答えなさい。
- 問3 平安時代の様子について間違えている説明を1つ選び、記号で答えなさい。
- ア 貴族に仕える女房たちは十二単を着ており、衣の重ね方で季節の変化を楽しんだ。
- イ 和歌などの国風文化が生まれても、貴族たちは漢詩などの中国の文化も学んでいた。
- ウ 貴族たちは書院造の大きなやしきで暮らし、能や狂言などを楽しんだ。
- エ 政治の争いや病や死に苦しみ、死後に極楽浄土に行けるよう仏教にすがっていた。
- 問4 藤原道長の子の頼通が建てた京都府宇治市にある寺院を次の中から選んで答えなさい。
- 平等院鳳凰堂 鶴岡八幡宮 金閣寺 法隆寺

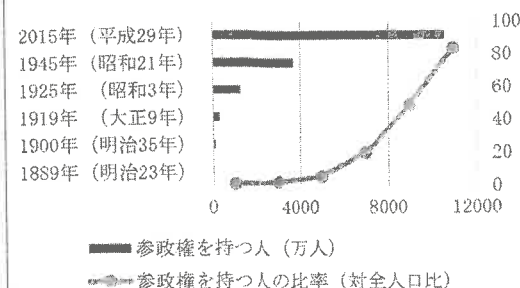
第2問 源氏物語を現代の日本語に訳した与謝野晶子は、「君死にたまふことなかれ」という詩を発表したことで有名である。以下の資料を読み、次の問いに答えなさい。

君死にたまふことなかれ  
 あゝをとうとよ、君を泣く、  
 君死にたまふことなかれ、  
 末に生れし君なれば  
 親のなさはまさりしも、  
 親は刃をにぎらせて  
 人を殺せとをしへしや、  
 人を殺して死ねよとて  
 二十四までをそだてしや。  
 塙の街のあきびとの  
 旧家をほこるあるじにて  
 親の名を継ぐ君なれば、  
 君死にたまふことなかれ、  
 旅順の城はほろぶとも、  
 ほろびずとも、何事ぞ、  
 君は知らじな、あきびとの  
 家のおきてに無かりけり。

- 問1 この詩で与謝野晶子が反対した、1904年に起こった戦争は何か答えなさい。
- 問2 与謝野晶子が生まれた大阪の塙は、戦国時代に鉄砲の産地として有名でした。鉄砲を日本に伝えたのはどこの国の人か答えなさい。
- 問3 与謝野晶子の弟が戦った戦場はどこか、右の地図の中から選んで地名で答えなさい。
- 問4 自分の左手の手術をきっかけに医師になり、黄熱病などの細菌学の研究に力を注いだ人は誰か答えなさい。
- 問5 雑誌『青鞥』で「元始、女性は太陽であった」という言葉を残すなど、女性の地位向上をめざす運動を行った人は誰か答えなさい。
- 問6 右のグラフは「衆議院議員選挙の参政権を持つ人の人数」をあらわしたものである。このグラフをふまえて、1945年に参政権を持つ人が大きく増えた理由として正しい説明を1つ選んで記号で答えなさい。



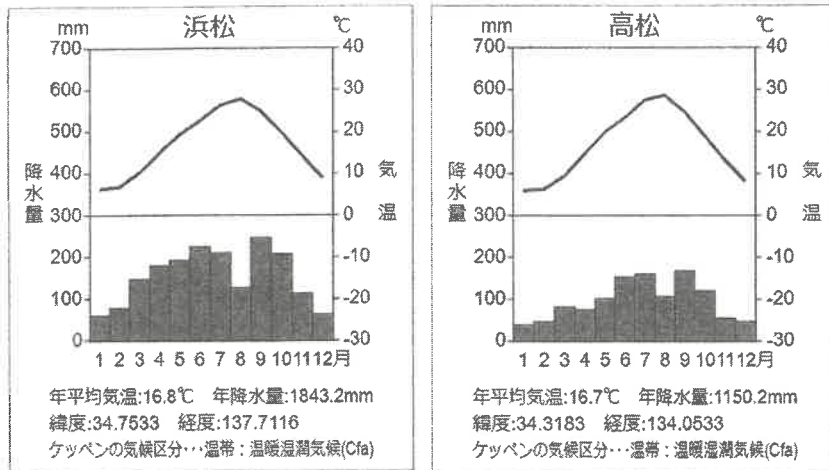
参政権を持つ人の人数の変化



- ア 太平洋戦争後の戦後改革で女性に参政権が認められたから。
- イ 戦争が終わり、選挙に行こうと思う人が増えたから。
- ウ 立候補する人が増えて選挙がおもしろくなったから。
- エ 戦争が終わり、人口が増えたから。
- 問7 日本国の憲法の三大原則を答えなさい。

令和7年度 浜松修学舎中学校 第1回入学試験問題 社会（その2）

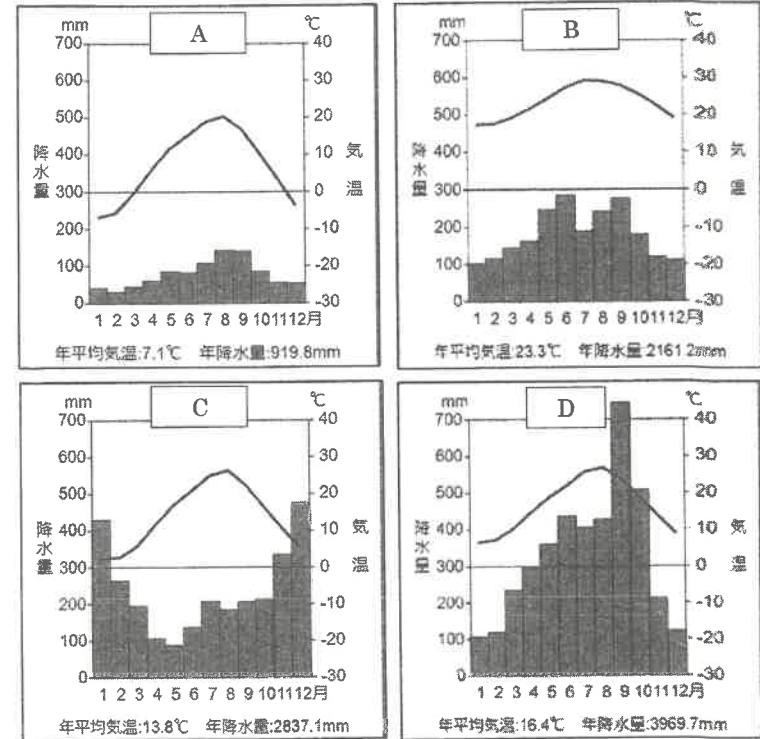
第3問 次の日本地図と雨温図を見て、次の問いに答えなさい。



問1 日本地図の(ア)と(イ)にあてはまる都道府県名を漢字で答えなさい。

問2 次の雨温図A～Dにあてはまる都市名を以下の語群の中から選んで答えなさい。

上越 帯広 那覇 尾鷲



問3 浜松市の気候の特徴を説明した文として正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 気温が高いあたたかい地域で、夏や秋によく雨がふる。
- イ 台風が多いので、家の周りをさんごで積んだ石垣で囲んで風を防いでいる。
- ウ 二重窓や特別なガラスを使うなど、室内の温度を逃がさない工夫がされている。
- エ すずしい気候を生かしほかの産地の野菜が少ない季節に新鮮な野菜を収穫している。

問4 遠いところから食料を運んでくるよりも、なるべく住んでいる土地のそばで生産された食料を使うのが望ましいという考え方を何という漢字4文字で答えなさい。

問5 香川県で有名な料理を次の中から選び、その料理がよく食べられるようになった理由を、香川県高松市の降水量をふまえて説明しなさい。

信州そば 讃岐うどん 博多ラーメン 富士宮やきそば

問6 社会を支える税金について正しい説明を1つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 地震で被災した地域が復興できるように、小学生も募金をする必要がある。
- イ 小学生が学校で使う教科書は税金で買っているの、小学生は無料で使える。
- ウ 20歳になるまで税金はいっさい払わなくてよいと法律で決められている。
- エ 浜松市が集めた税金の使い道は、選挙で選ばれた浜松市長が決めている。